

タイピックだより

1月号

2018.12.20 発行

Vol.73



あけましておめでとう
ございます。
新しい年が始まりま
す。二〇一九年はどの
ような年になるでしょ
うか。二〇一九年の干
支(えと)は36番目の
「己亥(つちのこ)とい
す。干支は十干(じっ
かん)と十二支の組み
合わせで、60年一回
りします。古代中国の
殷の時代(紀元前15
14世紀)に誕生したと
考えられており、十干

と十二支には、ともに
草木の成長にたとえら
れるという共通点があ
ります。
己(つちのこ)とは十干
の6番目で、草木が成
長しきつて整然と生い
茂った花を咲かせる前
の状態です。亥は十二
支の最後であり、植物
の成長としては、葉っ
ばも花も散ってしまっ
て、種の内部に草木の
生命力がこもっている
状態です。つまり今年

の己と亥が共通して意
味していることは、開
花や芽吹きという次の
ステージに向けて準備
をしているということこ
なのだそうです。
今年は改元の年でも
あります。日本では、天
皇一代につき一元号と
する一世紀の制を定め
た明治までは、吉兆や
天災や政争など様々な
理由で改元が行われま
した。改元は良い縁をも
らい、悪い出来事を一新
したいという縁起担ぎ
でもありました。
今の日本には、技術
革新や外国人労働者の
受け入れの拡充や農産
物の輸出など、今まで
とは変わりがつありま
す。それらの試みが良
い未来につながるよう
私たちも新しい気持ち
で物事に取り組みんでい
きたいですね。



こどもプログラミング教室入会者募集!!

つっこ、動く
プログラミング教育
園児・小学生対象
こどもプログラミング
プログラミング×ロボホン
1月開講



ロボホンを
動かしながら
プログラミングの基礎
を身につけよう!

スクラッチをつかって、
ぼくをうごかしてね!

うたったり、
おどったり、
おしゃべりも
できるよ!



- 1 実体のあるロボットが
かわいく動くので楽しい
- 2 対話シナリオを
プログラミングできる
- 3 作ったプログラムは
いつでもどこでも再生可能!

プログラミング学習は、楽しみながら論理的思考力を
養うことができるため、これからの時代必要とされる能
力を鍛えることに最適です。子どもの教育用に開発され
たプログラミング言語「Scratch」と「ロボホン」でプロ
gramming学習をおこないます。実際の動きをイメージ
し、試行錯誤を繰り返すことで、論理的思考を養うことが
出来ます。まずは、見学、無料体験に是非、お越し下さい。

<場 所>

株式会社タイピック 1F 教室

<受講日程>

- 第1・第3土曜クラス
 - 第2・第4土曜クラス
- 各90分

<受講時間>

- 13:00~14:40
- 15:00~16:40

対 象 年 齢
園児・小学生



お子様ひとりに1台のパソコンを準備して
いますので、実際にパソコンを操作して
いただき、パソコンの基本的な操作も覚えな
がら、楽しくプログラミングを体験してい
ただける体験会です。

まずは電話でご予約をお願いします

0120-733-554

タイピック株式会社タイピック 益田市常盤町7番3号

必要とされる人へ、必要とされる会社へ

Typic 株式会社 タイピック



〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号
Tel. (0856) 23-2800 代 Fax. (0856) 22-5592 番
http://www.typic.jp

社長の つぶやき



4年前の11月の誕生から安岡正篤一日一言を3年間はがき書き写して、知人・友人に送っていた。3年が経えたので今後は何を書き写そうかと思った時に、平成29年1月に開催された致知出版社の新春講演会で、渡部昇一先生が藤尾社長の講演を車椅子に乗られ真正面から他を振り向かず、見上げるように聞かれていた様子を思い出し渡辺昇一「一日一言をはがきに書き写すことにして1年経過した。しかし、文字数が多く葉書に書き写すのはあきらめ、ノートに書き写すことにした。

倫理法人会の講話で、1日1000字を書きなさいと聞いたが、平成28年正月から日々メールで送られてくる『致知一日一言』をノートに書き写してしている。これが40文字くらい。昨年12月7日にコメダ珈琲店浜田店を開店した時から始めた山陰中央新聞社のコラム欄『明窓』の書き写し613文字、渡部昇一「一日一言が100文字、まだ足りないので安岡正篤活学一日一言を書き写すことにした。

書き写しを行うのは、本来は朝の方がよいと思っているが朝は読書に専念したので夕食後としている。こうすると晩酌を控えるようになり健康上も良いのではないかとおもいつつ。

ちなみに渡辺昇一「一日一言の1月1日には「元氣と愉快というのは、人生においてきわめて重要である。仕事は常に元氣で愉快にやる。その氣分が重要だ」ということをわれわれは意識すべきだと思う。ジュリアス・シーザーの徳色はいつも上機嫌だったことだぞうだ」とある。

安岡正篤活学一日一言の1月1日には

一、残恨(残念なことを一掃して氣分を新たにします。

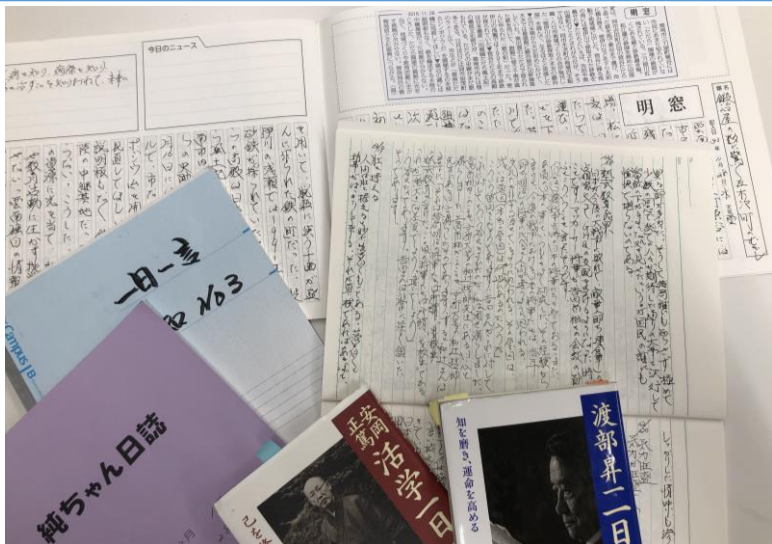
二、旧習(ふるい習慣)を一洗して生活を新たにします。

三、一善事を発願して密に行する。

四、特に一善を択んで心読を続ける。

五、時務を識つて自ら一燈となり一隅を照らす。

とあり、これらの言葉を大切にしながら、社員の行動指針を「一致団結」として、この1年素晴らしい年にしなければならぬ。



わが社の ほっとニュース



コメダ珈琲店の店長が華燭の典
昨年3月、コメダ珈琲店益田店がオープンした時から店長として、笑顔と真摯な姿勢を常に心がけ、ご来店のお客様に美味しいコーヒーと居心地の良さを提供してくれていた潮さんが、この度、華燭の典を上げられました。

いつもコメダの服装しか見ていなかった潮さんですが、白無垢もウエディングドレス姿もとてもしっかりでした。

笑顔あふれる素敵なお家庭をお二人で築いていただきたき、末永い幸せを、社員一同心よりお祈り申し上げます。



社内木鶏会

致知の感想



特集 古典力入門 O事業部 杉内 崇

古典と聞くと自分には一生関係が無いものという月号のテーマ「古典力入門」の文字を見た時に一番最初に思った事でした。しかしよくよく考えてみると毎月この致知を読む事によって知らず知らずの内に血肉になっているのではないかと思ひ始めました。

文中に入が立派な人物となるには腹の中に詩書があること、即ち古典の言葉をどれだけ血肉化しているかによるとありました。特集の最後に書かれていた小林さんはこの夏の豪雨により家を失ったとありました。失意の中、病院で手に取った致知の中に心の拠り所と指針が書かれてあったと、そして、災害にあった事によって致知の素晴らしさがあらためてわかったことでした。私も会社からこの致知を毎月いただいている事を当たり前と思わず、何か一つでも自分のモノとして吸収できるように読まないと駄目だと思ひました。

特集 古典力入門 O事業部 浅野 成郎

今回の、古典がテーマになっており、内容的にも非常に難しかったのですが、四つのPというのが一番印象に残っています。パッション、プロジェクト、ピア、プレイの4つですが、まずは何事にも情熱を持って取り組み、なにを目指すかの目的を持つこと。そして、物事は一人で成し遂げられないので周りの仲間を大切に、遊び心を持って勉強も仕事も取り組まなければうまくはいかないと言われていました。情熱などを持つのはもちろん大切ですがなかなか遊び心を持つというのはできないなと思ひました。仕事にしても勉強にしてもただやらされている感じするのは楽しくないと思ひついで自分なりに楽しめる方法を考えて取り組んでいきたいなと思ひます。これから先、まだ自分を変えていけるチャンスはあると思ひついで、いろんなことを知り、いろんな可能性を広げていきたいなと思ひました。

誕生日の決意

経理部

戎野 美津代

今年は亥年です。毎年年賀状のデザインを決めるのに、去年は我が家の犬の写真を付けて送りました。今年は、亥ですが一先日家の近くに農を置いていて、そこに4匹のウリ坊が捕まっていたので写真に撮れば良かったなあと思ひました。笑

可愛らしい生のイノシシの写真が見つからなかったで、年賀状の写真は例年通り子どもの成長写真とかわいいイノシシの絵にしました。

平成最後の誕生日を迎えますが、平成元年に社会人になりそれと同時に消費税も始まり小銭が増えるなあと言いう記憶、そして少したけバブルを味わい、良い思いをさせてもらい、バブル崩壊後は消えていく人たちがたくさんいた様に思ひます。良いも悪いも見て来て、いろいろな事があつた三〇年で、このように、今社会人として当たり前に働いて生活出来ている事に感謝したいと思ひます。また今年もこのように健康に誕生日を迎えられることに感謝します。

キリのいい歳にもなり、これから新たに変わる元号で、気分も新たにワクワクした日々を送りたいです。



O事業部システム課

西田 寿喜



1年の節目はいろいろな節目があるが、誕生日に関してはこれまであまり気に留めず年齢すらも「今何歳だったかな?」などとぼけていたし、生活の中で年齢を問われることもなく意識することもなかった。しかし、同級生や年の近い先輩などと話すときは「そろそろ還暦よ」とか「還暦を過ぎたから・・」などと「還暦」の二文字は意識していたように思ひます。

いよいよ還暦。気持ちは30代でも身体は確実に老いている。食事の量やお酒の量も減った。運動の後の筋肉痛は3日後にでる。以前のように夜遅くまで元気な時間が続くはずもなく、無理をせず次の日のために早く休むのが習慣になっている。「あ〜やっぱ還暦か?」などため息をついている。とは言え、家に帰るとお袋からは「風邪をひくなよ」とか「もっと食べなさい」とかいっまでもたつても子ども扱いに受け止め、子供にもどって2巡目の年齢を家族のために大切に過ごしていこうと思ひます。

でも、親にしてみると自分の息子が還暦ってどんな感じなのかな? 我が子が還暦になるまでの楽しみにとおくか。何より、還暦の誕生日には家族の健康を願いたいと思ひます。

ゆつくりやさしいパソコン教室

宇治教室 中山 貴志



昨年あたりから、腰を痛めたり、腕が上がらなくなり、小さい字が見づらくなったりと、自分のカラダはどうしてしまったんだという事が増えてきた。それを教室の、人生の先輩方に話すと、皆さんニヤリとして、「まだまだこれからだよ」という顔をされる。そして、カラダにいい運動と食べ物を知り、馴染みの整体を紹介される。

気持ちはいつまでも30代のつもりでいたのだが、カラダは正直だと痛感させられた年で、それではと、毎日のスクワットが日課になり、肩甲骨のストレッチを始めた。

先日300人目の生徒さんが入会され、取り組んでみたい仕事はまだまだあり、成長する娘は抱っこをせがむ。いい意味で自分の年齢に向きあえ、これからに向けた準備を始めた46歳です。



ゆっくりやさしいパソコン教室

歌って♪笑って☆

萩教室 大忘年会

萩教室 後藤 清子

萩教室久しぶりのイベントです。

12月10日(月) コロケ倶楽部にて16名の生徒さんが参加され、忘年会を開催しました。

まずは皆さんに簡単に自己紹介をして頂き、早速カラオケ大会の開催です。

月イチで集まってカラオケをされている生徒さん達は慣れたもので、ほとんど十八番の曲を入れていきます。



そして噂に聞いていたNさんが替え歌を披露。「そんなタ子にほれました」の「タ子」を女性陣3人+私の名前に替え、「そんな〇〇子にほれました」と笑い歌声で熱唱。



さらにSさんは「リン」の唄の「リンゴ」を4人の名前に替えて、これまた熱唱。「清子可愛いや 可愛いや清子」♪と歌ってもらい、始めは恥ずかしかったのですが、次第に何とも言えないいい気分になり、「自分の名前で歌ってもらえるなんて、恥ずかしいけど嬉しいね」と、私たち女性陣はご満悦なのでした(笑)



最後は村田英雄の「皆の衆」をみんなまで歌って、平成最後の忘年会を締めくくりました。

今年もよろしく願いいたします

十時から始まって十五時まで、あっという間の五時間。たくさん笑って、とても楽しい時間を過ごしました。是非また開催を、というお声も頂きましたので、今回参加できなかった生徒さんもお誘いして、第二回を開催しようと思います。ご期待ください。昨年もお楽しい一年をありがとうございました。今年も元氣いっぱい笑顔あふれる教室にお越しください。



シニア・初心者のためのパソコン教室です

- 益田教室 島根県益田市常盤町 7-3 株式会社タイビック1F
- 浜田教室 島根県益田市相生町 1391-8 シティバルク浜田3F
- 廿日市教室 広島県廿日市市木村港南 3-14 安野産業株式会社2F
- 萩教室 山口県萩市土原川 445 萩ショッピングタウンG棟
- 宇治教室 京都府宇治市大久保町上ノ山 32-2 石田ビル1F



ゆっくり やさしい
パソコン教室



同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします